

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

高齢者の人権・命・健康脅かす75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名

2021年6月4日参議院本会議で、75歳医療費窓口負担2割化法が可決されました。この法律が実施されると2022年後半から200万円以上の所得370万人(後期高齢者医療制度加入者の約20%)が2割負担となります。

国会審議の中で、①2割負担導入による現役世代の負担軽減効果はわずか月額約30円であること。②コロナ禍の今、精神的にも経済的にも疲弊している中で高齢者への負担増は受診控えを招くことが、各種調査で明らかになっているにも関わらず、政府は「健康悪化には結び付かない」としていること。③国会審議を経ずに2割負担増の対象者を政令によって広げることができること。等数多くの問題点があきらかになりました。

コロナ禍でただでさえ高齢者の受診控えが進んでいる中、必要な医療が受けられなくなることを前提にした負担増は高齢者の人権・健康権の侵害です。応能負担を窓口一部負担にもとめるのではなく、富裕層や大企業に求めるべきです。強制加入の社会保険では必要な給付を、保険料だけでなく、公的負担と事業主負担で保障すべきです。医療保障は無償が原則であることが世界的な流れです。保険料と一部負担金の二重徴収はすべきではありません。

75歳以上医療費窓口負担2割化は、高齢者の人権、暮らしといのち、健康を守る上で大きな影響を及ぼします。よって以下の事項を請願します。

《 請願事項 》

1. 高齢者の人権・命・健康脅かす医療費窓口負担2割化は中止してください

氏 名	住 所

呼びかけ団体

中央社会保障推進協議会

東京都台東区入谷1-9-5-5F 03-5808-5344

全日本年金者組合

東京都豊島区南大塚1-60-20 03-5978-2751

医療団体連絡会

東京都渋谷区代々木2-5-5 全国保険医団体連合会
03-3375-5121

日本高齢期運動連絡会

東京都中野区中央5-48-5-504 03-3384-6654

取扱い団体